

社会福祉法人 三穂の園 住倉学園 通所住倉 日中一時支援住倉 短期入所住倉 グループ・ホーム住倉 中・職奏 A 8 部田1・2・3・4・5・6・7・8 棟) グループホーム住倉 七・2・3 棟) 横谷1・2 棟、八鳥1・2・5・6 棟) 住倉衛田作業所 住倉総を A 2 棟 1・2 棟 八鳥1・2・5・6 棟) 住倉市田作業所 住倉総社作業所 住倉相談を基準業所 住倉市・工島、第2ドリームガーデン ワークハウス住倉・横谷 ワークハウス住倉・服部 ロークハウス住倉・八島 住倉八島作業所 住倉女上作業所 日倉女上作業所 日倉女上作業所 日倉女上作業所 日倉女上作業所 日倉女上作業所 日倉女上作業所 日倉女上作業所 日本のは111 名乗市玉島服部字弥高 3788 の 1 TEL(086)525・2522 (代) FAX(086)525・2411 E-mail:sumikura@movie.ocn.ne.jpホームページ:http://mihonosono-sumikura.jp/発行責任者 岡 良夫



なり、

挨 拶

総括施設長 事長 周

四つとして幅広い交遊を作るといい」と話され、そして遍路の るようになるさと考え三つとして、 皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。 心髄の前向きの感謝の心を忘れず、目標に向かって「やりきる_ 心構えで、今年もやってまいる所存です。今後とも関係各位の 先日前田隆司先生のお話を聞き感動しました。先生の幸福論 「人生は明るく、 楽しく、笑顔で二つとしておおらかに、 到達できない目標を持ち、 な

いりたいと思います。

ないかと心に刻み、私なりに一歩一歩でありますが、

進めてま

の要望の多い社会福祉事業により協力することが私の使命では 私が何をしてお返しすればいいのか問い、今やっている皆さま して生かしてくれる為に協力して下さる方々に感謝をしながら

を背負い一歩一歩歩く時、

きました。そのうち、

八十八ヶ所の巡礼廻りも今年で十年を数え、十回目の結願がで 私の尚像を建立頂き痛み入る幸福で感謝しています。又毎年 て個人的な事ですが、学園玄関の庭に家族会の皆さまより、

八回歩き遍路として歩かせて頂き、元気

ホーム、日中作業所も増開設しました。

無事開園できましたこと、関係各位に御礼申し上げます。

ました。今年は滋賀県近江八幡市でグループホーム、

相談支援

センター、日中作業所を開園しました。そして玉島にグループ

福山市に児童発達支援センターを開園させ、他県への進出をし

新たな時代の船出となりました。当法人は昨年、広島県

度は平成から令和へと新年号となり国民一同、新しい気持ちに

ます。今年も庭に満開の桜の下で利用者、ご家族、職員が手造

新年度の幕開けとなりました。本年

いつも大変お世話になり誠にありがとうござ

りの弁当をおいしく頂き、

皆様方には、

に感謝しつつ、四国の遍路道を杖を片手に白装束、管笠、荷物 に歩ける身体を授けてくれた両親に、時間を割いてくれた職員

今まで生かされたことへの感謝、そ

住倉安土元気園 安土作業別





毎日、作業 頑張って



交 皆

うに活動しています

れている方が充実した日々を送れるよ

作活動等の個別活動をし

利

用

豊

しています。

同努めてい よろしくお願 導・ご鞭撻の程 う作業場に さんの笑顔や楽しそうな会話が まだ手探り 現在は 新 0 きますの 提供が出 ・四名の方が なっており、 状態ではあります 来るように職員 利用され、 今後もより良 今後ともご指 まだ

住 倉安土作業所を開設

安原

章仁

地 域 三十 市に住倉安土作 十三仏 皆 心より 一年 様に 開 方や関係機関の皆様のご協力に 所を迎える事が出来まし 应 温 が感謝申 月 日より滋賀県近江 し上げます 所

ても静かな環境の な自 への道のり 田 かいご支援を頂き、 園風景の中に 中 を散策し で過ごせて が続く岩 戸 Щ 平 O創 と自

然や周

拼

0)





った。 互いが楽しくお話したり助け合いなが 「絹にオームの仲間と過ごす内に、お とって住みよい施設になるよ ち着いた環境にあります。 ら、充実した日々を送っています。 人所住倉安土」と合わせると、 一十二室、女性が十二室あります。四月人所住倉安土」と合わせると、男性が 今後も利用者およびその家族の方々に 「グループホーム住倉安土」は 努力して参りま

住倉安土元気園の開設

グループホーム住倉安土

土元気園を、平成三十一年四月に開所し 滋賀県近江八幡市に、 住

二十名の就労継続支援B型、四名の短期ホーム、定員二十名の生活介護、定員点施設として、定員三十名のグループました。当園は近江八幡市の地域生活拠 備えています。 野は周囲に田園風景が広がる、 しており、広大な敷地に作業室や食堂を づくりセンター「悠々元気園」 人所を行います。 また、当園のある近江八幡市安土町 日中事業所に当たる建物は、 を利活用 とても落









就労Bの活動場 のビニールハウ スです。





作業場内も設備が充実 し、活動しやすい空間 になっています。



援していきたいと考えています。

生活介護サービスでは、

特 性

充実した生活や活動が行えるよう支

環境の中で利用される方々が、

閑静な住宅街の中にあり、

静かな 日々

活の意欲向上を図ります。

に、身体機能保持を目指し、

自立生

ニーズに合った活動を提供すると共

写真です。







作業場室内の

きたいと考えています。 切さや楽しさ、達成感を実感して頂 季節の花々や野菜の苗づくり等の園 芸に携わることで、働くことへの大 いと考えています。 フ一同、心を込めて支援していきた 一人一人の目標の実現の為、スタッ 就労継続支援B型サービスでは、 利用者さん

住倉八島作業所

管理者

山下

型事業所住倉八島作業所 名)が、令和元年六月一日のオープ 支援B型定員十名、 ンを予定しています。 この度、倉敷市玉島八島に多機能 生活介護定員十 (就労継続



住倉グループ

年間行事

住倉大運動会、チャリティーコンサート、秋のふれあいウォーク等の行事があります。コンサートでは、作陽大学の学生さん達による素敵な演奏を皆で楽しみます。





一日旅行や住倉祭りなど、皆が楽しみにしている行事が沢山の夏。 住倉祭では『炭坑節』や地域の盆踊り『穂井田ええとこ』等を踊ります。









す。今後とも何卒宜しくお願い致 えるよう精進したいと考えておりま て地域

の皆様との絆を大切にしなが

共に助け合う社会福祉貢献を行

度においても様々なイベントを通じ

目指しています。

自然を大切に、

地域を大切に今年

け合い一緒に過ごせる環境づくりを

い者と地域の方と「和」をもって助

域共生社会に沿った福祉貢献、

障が

なりました。

当法人も国が掲げる地

地域と共に

社会福祉法人

いご理解を賜り の皆様におかれましては平素より深 玉島弥高地区を始めとする各地 厚く御礼申し上げま X

す。

今年五月に年号が

令和に改

め

誰もが一生の心に刻まれる年と

施設長 Ш 上 裕

障害者支援施設 住倉学 園 園 右

てくだざった **指力**U





株式会社明星岩知道石材店

倉敷市手をつなぐ育成会 玉島児童発達支援センター



崎医療福祉大学

(順不同)

海杉藤蜂阿佐山小逸 原原本谷部中田川見 鉱敬ア 妙勝

逸北板岡吉村増 根 見川野田澤 野 上 幸真和 結 弥帆奈 佳 子子希桜子 代美緒 子

ボランティア ありがとうございました

平成30年5月1日~平成31年3月31日



平成30年5月1日~平成31年3月31日 美 津子

ご寄附ありがとうございました

千 住 宅 圭 道

平

野

鉄之助

安

田

美

都

子 子 夫

李井

康

烈

保護者会

住倉学園家族会

(順不同)

小原商店御ナウ建築設計

稲岡ガラス店

共和石油販売株式会社

端片藤池松佐塩坂久宮妹安葛廣新猪出竹藤小平伊原河糸田松文岡川三水山 山村田村木尻本安森尾藤原田谷木宮内田山尾藤田野島浦本 野瀬宅川田 秀茂久京由友千一充直真安 雅和淳光昌長正 尚孝好善静

倉敷市芸 岡山市議会議員 武 波 議会議員 朋 宜

山支 支店

伊森苅前西小西桒横廣村池三福田市伊奥 谷田川林尾田山森上田宅田村田田 世広颯湊潤希日柊颯 明裕実蒼悟さ礼 隆宣太斗海空向馬大花蓮仁子咲太士ら慈



平成30年5月1日~平成31年3月31日

(順不同)

ご寄附物品ありがとうございました

「貸借対照表)

平成 31年3月31日現在

(単位:円)

| 資 産 | の部 | 負 債 | の部 |
|----------|---------------|-------------|---------------|
| | 金額 | | 金額 |
| 流動資産 | 1,348,608,580 | 流動負債 | 603,545,323 |
| 固定資産 | 3,120,364,653 | 固定負債 | 410,634,277 |
| 内訳 基本財産 | 2,708,522,624 | 負債の部合計 | 1,014,179,600 |
| その他の固定資産 | 411,842,029 | 純 資 産 の 部 | |
| | | 基本金 | 217,066,614 |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 998,779,236 |
| | | その他の積立金 | 125,353,922 |
| | | 次期繰越活動増減差額 | 2,113,593,861 |
| | | 純資産の部合計 | 3,454,793,633 |
| 資産の部合計 | 4,468,973,233 | 負債及び純資産の部合計 | 4,468,973,233 |

事業活動計算書

(自) 平成 30 年4月1日 (至) 平成 31 年3月 31 日 (単位:円)

| | | 金 額 |
|---------------------|----------------|---------------|
| サービス活動 増減の部 | サービス活動収益計 | 1,583,232,635 |
| | サービス活動費用計 | 1,314,220,841 |
| | サービス活動増減差額(A) | 269,011,794 |
| サービス活動外増減の部 | サービス活動外収益計 | 16,328,877 |
| | サービス活動外費用計 | 3,040,881 |
| | サービス活動外増減差額(B) | 13,287,996 |
| 経常増減差額(C) | = (A) + (B) | 282,299,790 |
| 特別増減の部 | 特別収益計 | 439,037,062 |
| | 特別費用計 | 419,236,360 |
| | 特別増減差額(D) | 19,800,702 |
| 当期活動増減差額(E)=(C)+(D) | | 302,100,492 |
| 前期繰越活動増減差 | 1,812,124,778 | |
| 当期末繰越活動増減 | 2,114,225,270 | |
| その他の積立金取崩 | 1,620 | |
| その他の積立金積立 | 633,029 | |
| 次期繰越活動増減差 | 2,113,593,861 | |

資金収支計算書

(自) 平成 30 年4月1日 (至) 平成 31 年3月 31 日 (単位:円)

| | | 金 額 |
|---------------------------|-----------------|---------------|
| W 771 | 事業活動収入計 | 1,599,537,083 |
| 事業活動に よる収支 | 事業活動支出計 | 1,251,897,293 |
| | 事業活動資金収支差額(A) | 347,639,790 |
| 17 -0 -6 64-64 | 施設整備等収入計 | 427,904,579 |
| 施設整備等に よる収支 | 施設整備等支出計 | 699,482,116 |
| | 施設整備等資金収支差額(B) | △ 271,577,537 |
| その他の活動に よる収支 | その他の活動収入計 | 20,192,399 |
| | その他の活動支出計 | 8,707,791 |
| | その他の活動資金収支差額(C) | 11,484,608 |
| 当期資金収支差額合計(D)=(A)+(B)+(C) | | 87,546,861 |

| 前期末支払資金残高(E) | 762,623,123 |
|----------------------|-------------|
| 当期末支払資金残高(F)=(D)+(E) | 850,169,984 |

